

佐賀県 農福連携技術支援者 育成研修

農業の現場に、福祉の視点と技法を。

専門人材「農福連携技術支援者」を、佐賀県内で育成する研修です。



PURPOSE

目的

農業の働き手確保と、障害のある方の就労機会の拡大。農福連携を地域で支える人材を育成します。

TARGET

対象者

農業者・農業関係者・福祉関係者
(行政職員・団体職員を含む)
20名程度

REQUIREMENT

受講条件

eラーニング、集合研修、修了試験を含む全課程を受講できる方

農福連携技術支援者とは

農業と福祉の両方を理解し、障害特性に応じた作業の組み立てや、現場での支援方法を具体的にアドバイスする専門人材です。全課程と修了試験を終え、必要な知識・技能が認められると、「農福連携技術支援者（農林水産省認定）」として活動できます。

費用・その他

- ・受講料は無料です。
交通費・昼食費は自己負担となります。
- ・集合研修では、圃場や屋内で実際に農作業を行います。
農作業に適した服装でご参加ください。
- ・集合研修の最終日に修了試験を行います。
認定までは概ね1～2か月程度かかります。
- ・「農福連携技術支援者（農林水産省認定）」は、
国家資格ではありません。
- ・一部でも研修を欠席した場合は、
認定を受けることができません。

受講前にご確認ください

- ・災害等で研修が延期・中止
となった場合、予約済みの交通機関や宿泊施設のキャンセル料は受講者負担となります。
- ・詳細な研修内容・会場は、下記HPに記載の開催要領・シラバスをご確認ください。

WEBフォームより受付中

申し込みはこちらから

申し込み締切 令和8年9月1日(火)17時

問い合わせ：佐賀県 農業経営課 担当：柿本・大宅
TEL 0952-25-7422

E-mail : nougyoukeiei@pref.saga.lg.jp

申し込み

<https://logoform.jp/form/jbBd/1722170>

令和8年度 農福連携技術支援者育成研修 HP

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003120536/index.html>



二次元コード
申し込みフォーム

研修概要・スケジュール

1 eラーニング

日程	9/7(月)～9/28(月)
	配信期間中、ご都合のよい時間に受講できます。
内容	農福連携概論
	社会福祉と障害者福祉
	障害者雇用と障害福祉サービスの仕組み、関係機関の役割
	障害福祉サービス事業の運営の実務
	障害特性と職業的課題の基礎
	農業と農村社会
	農作業の一般的な特徴
	農業経営の仕組み
	農作業の流れ
	農業者による農福連携の経営実務
	農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法【事前学習】

2 集合研修(全4日間)

日程	時間	研修場所及び内容
10/15 (木)	9:00～17:00	▼ 佐賀県農業試験研究センター ○ 障害特性に対応した農作業支援技法
10/16 (金)	9:00～17:15	▼ 神崎市農家ほ場・神崎市中央公民館 ○ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法
10/22 (木)	9:00～17:15	▼ 佐賀県農業大学校・佐賀県農業試験研究センター ○ 作業細分化・難易度評価・作業割当て、農福連携技術支援者の役割と実践事例
10/23 (金)	9:00～15:30	▼ 特定非営利活動法人スローLIFE・佐賀県農業試験研究センター ○ 障害福祉サービス事業の運営の実務(事業所見学)、修了試験

(▼研修場所、○内容)

講師紹介

現場の最前線で活躍する3名の講師が、実践に役立つ知識と技術をお伝えします。



松本 康平 (まつもと こうへい)
特定非営利活動法人スローLIFE 理事長 / 認定社会福祉士

就労継続支援B型「スローWORK大和」やグループホームを運営。農業不使用農業の実践や触法障害者の受け入れ・更生支援に尽力。サービス管理責任者等研修などの講師としても幅広く活動。



高草 雄士 (たかくさ ゆうし)
一般社団法人ノーマポート 代表理事

全国で300名以上の農福連携技術支援者を育成してきた農福連携の専門家。著書『ノウフク大全』などを通して、障害のある方が安心・安全に働ける現場づくりの具体的なノウハウを全国で伝えている。



藤戸 小百合 (ふじと さゆり)
佐賀県農福連携コーディネーター / 農福連携技術支援者

県内全域で延べ350件以上のマッチングを成立。農家と福祉双方を理解し、作業の細分化や最適な作業割り当てなど現場での技術支援を担う。今年度は農林水産省主催「農福連携技術支援者育成研修」の講師も務める。